

Meiji Gakuin Alumni Association News

明治学院同窓会 News

2015
OCTOBER

DO FOR OTHERS 第16号より抜粋



明治学院同窓会
Meiji Gakuin Alumni Association

祝へボン博士生誕200周年記念特集 へボン博士の生誕地ミルトン町を訪ねて

(1973年英文科卒・在米)
一条吉広

はじめに

5月25日にへボン博士の生誕地のペンシルバニア州ミルトン町を訪ねました。事前に連絡を取っていた地元第一長老教会のステイブン・シャーク牧師にお会いし、町やへボン博士の事をお聞きました。

ミルトン町の歴史

1890年代から、絹や織物工場などの産業が栄え、人口も急激に増えていきました。1972年に大洪水に見舞われ、多くの産業施設や住宅が崩壊し、それ以来、町は停滞を続け、現在は、7000人ほどの住民が住んでいます。それに遡って、1880年の大火で、町の何百件もの家屋が焼失し、その中にはへボン博士の生家や博士が通われた隣の教会



へボン博士レリーフ



(上) 第一長老教会
礼拝堂
(右) 礼拝堂の内部

会もありました。博士の通われたシャイロ教会とシャーク牧師の教会が合併し、現在に至っています。

シャーク牧師との対談

まずは、牧師の教会のすぐ隣りの家で牧師に会い、少し自己紹介をお互いに済ませた後、教会内に案内されました。集会室に置いてあったテーブルの上には、横浜にあるへボン博士のゆかりの指路教会からの訪問客から贈呈された様々な出版物(教会史を含む)が展示されていました。日本語なので、誰も何を書いてあるか分からず、どれでも好きなものを持って行つて下さいと言われましたが、一緒に置いてあった、恐らく明学の卒業生が学校の職員かが、訪ねて来た時に置いていったであろう明学の校歌が入ったCDを一枚、そして、明学の出版物を少し頂いて来ました。更に、廊下に案内されて、へボン博士のレリーフの横顔が入った記念銘板を見せて頂きました。それには、へボン博士の功績が、刻まれています。



郵便局(道路右側奥中央のビル)

へボン博士生家跡訪問

そこから、外に出て、50メートルほど離れた道路の反対側のブロックの角にある、へボン博士の元生家に行きました。前述のように、焼失したへボン博士の生家跡には、又家が建てられ、現在オフィスとして使われています。先生の生家の隣にあつ



へボン博士生家跡のオフィス

おわりに

今回のミルトンの町を訪ねて、シャーク牧師と会話を交わし、更にへボン博士の生涯を読み直してみても、へボン博士が、とても偉大な人物である事を再確認させられました。同志社大の創立者新島襄も海外に出て、外から日本を見つめられて、英語教育や女性教育の重要さを認識していたように、へボン博士も、日本人に世界に目を向けさせるように、教育に力を入れ、和英、英和事典を編纂し、更に、基督教的価値観を日本に紹介した事は、偉大な業績であると思います。たとえ、偶然とはいえ、そのような創立者を持つ明治学院大学で学ぶ事が出来た事を誇りに思います。次回は、へボン夫妻が眠る墓地を訪ねてみたいと思います。

「日光金谷ホテル歴史館」オープン

(1961年社会学科卒) 島田貫司

アクセス

JR 日光駅・東武日光駅から
バス「田母沢」下車2分
金谷ホテル歴史館
☎0288-50-1873

「ヘボン博士記念碑」 有志による清掃奉仕

島田貫司

ヘボン博士との出会い

日本最古の西洋式リゾートホテル「金谷ホテル」がヘボン博士の提案でホテルに発展した歴史的いきさつをご紹介します。

私が53年前、米国留学中の夏休み、カリフォルニア州ラホヤのホテルでアルバイトをしていた時に、東北大学から海洋学研究のため留学しておられた金谷太郎夫妻がホテルのレストランに來られ、日本人が少ない頃で、懐かしさのあまり、しばし語り合いました。30年後、学者から日光金谷ホテルの社長になっておられた金谷氏と再会、以来いろいろとお世話になりました。バブル期、ホテルは経営危機を迎えましたが、地元経済界の応援を受け、乗り切られました。



ホテル全景

歴史館創設の背景

創始者金谷善一郎の四男の長男申橋弘之(現金谷ホテルベーカーリー社長)は「金谷ホテル」のルーツを残したいと私財をもって古びたコテージを原型のまま修復工事の指導をさ



展示室内と金谷善一郎氏

れ、ヘボン博士の200歳の誕生日、今年2015年3月13日に間に合うよう見事に完成されました。「金谷ホテル歴史館」オープンの祝賀会に40名近いヘボンの子ともいえる明学同窓生が参加、特製のバースデーケーキが出来上がり、記念講演者として前学長・前学院長大西晴樹先生を迎え「ヘボン博士と金谷ホテルそしてヘボン研究」の演題にて講演されました。元祖コテージの復興の他、隣に展示室及び「金谷ホテルベーカーリー」のパン、クッキーの販売店とレストランも同時オープンされました。これを機会に、同窓生の皆さん、ご家族と日光へ行かれましたらぜひ、「金谷ホテル歴史館」を訪ねてみて下さい。



清掃活動の様子

■ 次回の清掃奉仕 10月24日(土)午後2時
集合場所 合同庁舎前(「横浜人形の家」後方向)
■ 連絡先: 090-8342-0425 (島田)

1947年10月18日ヘボン夫妻第二の横浜山下町住居跡地にヘボン博士記念碑が完成、除幕式典が盛大に挙行されました。明治学院卒業生有志はヘボンの子として、横浜教育委員会また合同庁舎の許可を受け、毎年10月記念碑の掃除をし、ヘボン夫妻の顕彰を続けています。皆様も参加してみませんか。有志一同心よりお待ち申し上げます。

※有志代表でした石川潔氏(1957年卒)は2014年に昇天されました。

活躍する同窓生紹介

繋がりが生まれ初めて意識した「同窓生」

(1998年商学科卒) 入江恭広



楽しむ！それが会社の経営理念です

企業の決意、設立、今後の夢

私が経済学部商学科を卒業したのは1998年のことです。就職活動をしていたのは超就職氷河期でした。北海道拓殖銀行、山一証券が破綻したというニュースには衝撃を受けたことを今でも覚えています。一流と言われる企業に就職しても会社がなくなってしまうばそれでおしまいである、生き抜いていくためには自分という個人に力が必要なのだと気が付いたのです。

30歳を目前にして起業を決意し、渋谷で設立した株式会社アイエンターは7月で12期目を迎えました。スマートフォンやWebシステムを中心とした事業を展開しており、グループ会社にはクラウド事業を柱にしたLesos株式会社、そしてベトナムのハノイにもオフショア開発を行う為のアイエンターAgwを展開しています。自分の力でとことんやってみようと思いスタートした会社ですが、ここまで会社が成長し続けているのは社員一人ひとりの力があってこそ。個人の力の相乗効果が発揮されることの威力を感じています。今後はスマートフォンサービスの先駆者としての地位を確立し、「業界だけでなく日本中を元気に幸せにしていける存在となっていきたいと考えています。

ヘボン経済人会との繋がり

そのため今回、大学での講義の機会を頂いたことは自分が大学の役に立てるチャンスだと感じています。卒業以来、大学との関わりはほぼ無かった私ですが、ヘボン経済人会の立ち上げの際に理事として参加したことをきっかけに今までにない大学との繋がりが生まれ、自分がこれから大学に対してどう貢献できるかを考えるようになりました。学生に向けたインターンシップの実施や採用の受け入れだけでなく、様々な繋がりを増やしていきたいと考えています。また、経済界で活躍する卒業生が私と同じように大学に対して何ができるかを考えられる、そして行動できるきっかけづくりや機会を増やしていきたいです。



2015年度卒の内定式の様子。全社員が参加します

プロフィール

入江恭広氏

明治学院大学経済学部卒。大学卒業後、株式会社コナカに入社。同期内トップセールスとなり、複数の新規店舗立ち上げや店長職を経験する。さらにITベンチャー企業に転じ、20代で営業・採用部門のトップとして従事する。2004年、30歳で起業し株式会社アイエンターを設立。最初はたった一人、ワンルームのオフィスからのスタートだったが、わずか4年で売上約13億円を達成。現在会社は12期目を迎え、社員数160名、売上げ約30億円と成長企業に育てる。

支部紹介

全国にある支部を順次ご紹介しています。今号は、愛知県支部、札幌支部、東京大田支部です。情報交換の場として独自の企画・イベントにより、皆さん楽しんでおられます。どのような思いで参加されている方がいらつしやるか、ご紹介いただきます。

愛知県支部

旧東海支部60周年の 節目を迎えて



下岡 寛
愛知県支部長
(1973年法律学科卒)

今年、明治学院同窓会愛知県支部は前身であります東海支部創立より60周年を迎えました。今年の支部総会はその60周年を記念して11月28日に愛知、岐阜、三重支部合同にて記念総会を開催致します。

東海支部は愛知・岐阜・三重3県の卒業生を中心に1995年(昭和30年)に創立されました。初代支部長は松原隆四郎氏(昭和3年中等部卒)で中等部、高商部の卒業生が中心となり、続いて大学卒業生も加わり東海支部の基礎固めがなされました。平成5年に三重県支部が東海支部から独立し、平成19年に愛知県支部、岐阜県支部に分割され現在に至っています。愛知県支部では年1回の総会をはじめ、同窓生の在職する企業などの見学会、親睦ゴルフの開

催や学院行事への参加など、様々な活動を行ってまいりました。また、節目の年には島崎藤村の出生地長野県木曾郡山口村馬籠宿、現在の岐阜県中津川市馬籠(平成17年岐阜県中津川市に越県合併)への日帰り旅行も行いました。今年も11月29日(日)に藤村の墓参りと藤村記念館見学など馬籠への記念ツアーを計画しています。多くの皆様の参加をお待ちいたしております。

愛知県支部が60周年を迎えられましたのも、同窓会本部の皆様のご指導ご鞭撻は勿論のこと、諸先輩のご努力の賜物と深く感謝いたしております。今後もこの伝統ある愛知県支部を、引き続き発展させていきたいと思っておりますので、皆様の変わりぬご支援のほどを宜しくお願いいたします。

札幌支部

札幌支部創立50周年 記念総会に寄せて



近藤裕志
札幌支部長
(1977年法律学科卒)

平成27年7月10日、メルキュールホテル札幌に於いて札幌支部創立50周年総会を開催しました。同窓会本部からは内山功会長のご臨席を賜り、最高年齢88歳から最年少26歳までの幅広い同窓生59人が集いました。当日は、記念事業として落語家橋家仲蔵さんの落語会を開催しました。仲蔵師匠は月の家円鏡(現橋家圓蔵)門下の真打で、当支部の幹事長鈴木名徹さん(78年度生)の同級生。入学式からの友人のよしみで東京から来ていただきました。落語会は爆笑の渦で大いに盛り上がり、支部総会に花を添えて下さいました。

札幌支部は平成16年から22年まで参加者数が低迷し、一時は30人台まで落ち込みました。対策として支部内に若手会を立ち上げ、若手だけの

集まりを定期的に開催したほか、札幌は転勤族が多いので独自のホームページを立ち上げ、転入者への窓口を広げました。それらが奏効し翌年から参加者が増え、近年は約60〜70人のご参加があります。

今後の取り組み

「平成25年度明治学院大学新入生の出身地データ」によりますと、北海道出身者はわずか1%で寂しい限りです。しかし、昨年度から大学の札幌受験が復活しましたので、道産子の明学生が増えることを期待しています。同窓会本部の重要活動方針である「同窓会の生命線は支部にある」を支えるためにも、微力ながら札幌支部の幹事団・若手会の仲間たちとともに支部発展のため活動を続けてまいります。

東京大田支部設立20周年記念

総会・懇親会・キャンパスコンサート

東京23区内に初めての支部として1995年に発足した東京大田支部が今年度20周年の節目を迎え、何か記念になるものをと企画し、2015年6月28日(日)総会、懇親会を大学本館10階大会議場で行い、2号館2101号教室でジャズ歌手西村協さん(1966年法学部入学)によるキャンパスコンサートを開催しました。

総会及び懇親会

内山功同窓会会長ほか東京ブロック各支部長、副支部長など他支部からも多数ご出席頂き、内山功同窓会会長のご祝辞後、小泉智義元副学長(白金高校卒大田区在住)他第1回目参加者に思い出を話していただきました。在学中にプロとなり卒業してなかった西村協さんに同窓会会長より、同窓会認定書が贈呈され、同窓会会員となりました。60名参加者のなかで御厨章雄さん(専門学校24年卒)が最高齢、板橋英子さん(2015年法学部政治学科卒)が最年少でした。懇親会の最後は応援団によるリーダー演技、ブラスバンド



演奏、チアの演技が20周年の記念にふさわしい盛り上がりとなりました。

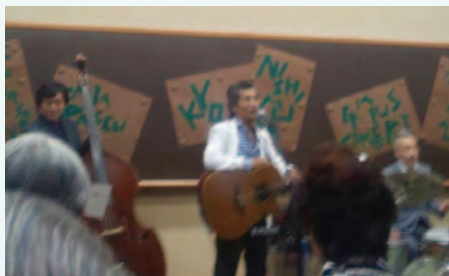
西村協キャンパスコンサート

大学2号館2101号教室をお借りしての祝賀コンサートは、チケットの販売から、会場飾り付け、会



加藤斗紀子
大田支部長
(1970年法律学科卒)

場案内など、1970年卒業同級生の協力の下で本番を迎えました。受付には皇后様に週2回お花をいけている華道家武田潤さん(1970年仏文卒)作成の生花が飾られ、華やかにお客様を迎えていました。「あの素晴らしい愛をもう一度」から始まった西村協コンサートは、曲が始まったとたん学生時代に一気にタイムスリップ。フォークソングのメドレーが続ぎ、西村さんがプロになるきっかけとなった学生バンド(ニューポートシンガーズ)の仲間達も会場から「来てるよ!」と声がかかり、当時に初めて歌った曲を歌い始め、途中で歌い直したのは感動のためだったのでしょうか?休憩時間には卒業以来久しぶりの再会をよろこぶ光景があちこちで見られました。後半は映画音楽、ジャズ、プレスリー、ロックなど西村さんのレパートリーの広さを感じました。あつという間に終了時間の17時となり、アンコールの「マイウェイ」で名残惜しくキャンパスコンサートは閉会となりました。またの再会を約束し合って、感動と興奮の1日が終了しました。学



生時代の友人、先輩、後輩などのつながりが貴重な財産だと感じられた1日でした。

おわりに

席をほぼ満席にできたのは、同窓生の皆様のご協力によります。また卒業後久しぶりに学院を訪れた方もいました。懐かしく学生時代を思い出す事が出来、嬉しかったとの感想もいただきました。今回の開催にあたり、いろいろお手配くださった同窓会事務局、大学関係者の方々は、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

株式会社明治学院サービスは、
学校法人明治学院の100%出資会社です。
学校の周辺業務を事業化し効率的効果的な
各種サービスの提供を行い、
その収益を教育事業に還元することを
目的としています。

【主な業務内容】

◆人材派遣ビジネス

明治学院（明治学院大学、高等学校、中学校等）及び教育機関や他学校を中心に学校事務に特化した人材派遣を行っています。学校関連企業として相応しい質の高いサービスの提供に努めています。

◆明治学院白金チャペルでの結婚式

当事者のいずれかが、同窓生、現・元教職員、法人役員またはそれらの近親者の方であればお申し込みいただけます。本学はプロテスタントのキリスト教信仰を建学の精神としており、礼拝に準じる儀式としての挙式を行います。

◆学生総合保険・海外旅行傷害保険・火災保険・自動車保険（バイクを含む）・医療保険などの代理店業務を行っています。

◆白金校舎パレットゾーンの食堂・横浜校舎のインターナショナルカフェの運営管理をしています。

◆新入生、在校生に対するお部屋探し・住替えのご相談受付、明治学院大学女子寮「セブンレンス館」の運営管理をしています。

◆大学ロゴグッズ、バツハアカデミーのCD、自動販売機での飲料の販売をしています。



株式会社 明治学院サービス

〒108-0071 東京都港区白金台1-2-37

Tel 03-5421-1555 Fax 03-5421-1556

URL: <http://meijigakuin-s.co.jp/>

【お問合せ先】

明治学院同窓会事務局 〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 TEL 03-5421-5190（FAX 03-3441-0970）（事務取扱い時間 10:00～16:00）
<http://meigaku-dosokai.jp>